

## 吉沢かつらの一般質問



子どもの意見表明・相談機関・居場所づくりなど

# 子どもの権利を守る施策を

市長は「国・県の通達を待って取り組みたい」と消極的な答弁。私が、積極的に実態調査を行っている足立区の事例について取り上げると「検討・研究していきたい」と答えました。

## 子どもの権利知らせる広報の工夫

子どもの権利についての広報は大きな課題です。先進自治体では、子どもの年齢に合わせたリーフの作成や絵本、マンガ、DVD作成など工夫をしています。市長は「現在、リーフレットを作成中」と答えました。

子どもの権利の代表的な「意見表明権」を保障するため、市の計画や事業について子どもの参画を進めていくべきです。市長は「できるだけ配慮していく」、教育長は「子どもの意見を取り入れることは有意義。市長部局と連携して対応したい」と答えるも、具体的な方法については答えませんでした。



## 子どもが安心できる居場所づくり

ボランティアが運営する「子ども食堂」が子どもの居場所として全国各地に広がっています。行政も積極的に子どもの居場所づくりに取り組むべきです。市長は「学童保育等を子どもの居場所として充実させたい」と答弁。学童保育を利用していない子どもに対する支援など具体的な取り組みについては答えませんでした。

## 子どもの権利守る条例制定を

国連は日本政府に子どもの権利に対する包括的な法律の制定を求めています。国の取り組みが遅れているなか、自治体が子どもの権利条例を制定する取り組みが広がっています。私が「子どもの権利を守るための条例を」と求めると、市長は「他自治体を参考に研究していく」という答弁に留まりました。この他、子どもの相談機関の設置・充実などを求めました。

日本共産党市議会議員



# 吉沢かつらの 市議会レポート

2016年冬号

新しい年を迎えましたが、いかがにお過ごしですか。今年は参議院選挙の年。私は、「戦争法廃止の国民連合政府」を実現するための第一歩となるこの選挙で、日本共産党が大躍進できるよう頑張る決意です。さて12月議会では、入間基地拡張反対の請願や図書館の指定管理者導入、国保税

の限度額引き上げなど市民生活に関わる議案が出されました。詳しくは裏面をご覧ください。今年も、みなさんと力を合わせ市民生活を守るために全力を尽くします。ご意見やご要望もお待ちしております。



# 子どもの貧困対策の計画を

12月議会では、子どもの権利条約からみた現状と子ども施策の充実を求めて一般質問を行いました。議会の様子は、入間市議会ホームページから動画配信もしていますので、是非こちらもご覧ください。



日本は国連の

子どもの権利委員会から子どもの貧困対策について見直しを求められています。そうしたなかで2012年の子どもの貧困率は16.3%と過去最悪を更新しました。一刻も早い対策と改善が求められています。私は、子どもの貧困の実態調査と貧困対策の計画策定を市長に求めました。

【4面に続く】

入間市駅で宣伝を行っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい

# 8600筆の市民の願い届かず

## 第4回定例議会

# 「基地拡張反対」請願を議会が否決

12月議会に「ストップ入間基地拡張！市民の会」から提出された「入間基地拡張となる『災害対処拠点施設及び自衛隊病院設置』に反対し平成20年計画実現を求める請願」が、共産党市議団以外の反対で否決されました。

### 市長が勝手に「受け入れ」表明

請願は、田中市長が防衛省の要請に対して、市民への説明も市議会の議論も無いまま、「受け入れ」表明したことに抗議した。7977筆の署名はその後も次々に届き8600筆を超えています。

### 戦争法の具体化となる基地拡張

11日、30名を超える傍聴者が見つめるなか市議会基地対策特別委員会で審議。

「市民の会」代表の小川満世氏が趣旨説明を行い、防衛省の「入間基地拡張、自衛隊病院建設」計画は、戦争法の具体化「戦争できる国」の準備そのものであり、市民は断固拒否すると主張しました。

さらに、市長の決定は住民無視、議会軽視で、憲法92条の地方自治の原則に反すると厳しく批判。緩衝緑地帯である市街地の貴重な緑が伐採されれば、東町小・

中学校や地域住民への影響は甚大。市民生活を守るためにも緑地は保全すべきと訴え、平成20年の計画実現への努力を市長と行政に求めました。

紹介議員の小出亘市議が防衛省の計画と20年の計画に何ら整合性はないとして、請願を尊重し採択をと訴えました。

### 市は20年計画実現へ努力せず

審議のなかで、入間市は平成20年の計画策定後、用地取得に向け財務省と一度も協議していないことが明らかに。

安道佳子市議が賛成討論を行い「市長の受け入れ理由は、市民を欺くもので、戦

争するための基地拡張は断じて受け入れられない。請願に込められた市民の願いを受け止めるべき」と強調しました。

議会最終日の本会議において、共産党以外の会派は、市の計画と防衛省の計画は整合性があると主張。請願に込められた市民の平和の願いは受け入れられることなく、請願は不採択となりました。



## 国保税改定・図書館分館指定管理に反対

共産党は17議案のうち2議案に反対しましたが全て賛成多数で可決されました。

国民健康保険税条例の改定は、国保税の限度額を現行の81万円から85万円に引き上げるものです。入間市では昨年からの国保税増税が行われたばかり。国保は社会保障です。自治体は住民の健康と医療を守るという本来の役割を果たすべきです。



図書館3分館(西武・金子・藤沢)の指定管理者を民間企業に指定する議案が提出。今回の指定管理者制度導入にあたり入間市図書館協議会に諮問さえしておらず、市が強引に推し進めていることは大問題です。倒産などの恐れのある民間業者が管理・運営する指定管理者は安定的、継続的なサービスを提供することは困難です。市民の生涯学習を保障する社会教育施設は、市が直営で運営すべきです。

## 学校統廃合を提案

市主催の「入間市公共施設マネジメントシンポジウム」で「最適化方針」と称して学校を統廃合し、図書館・市役所支所・保育所・学童保育などを学校に移設する方針が説明されました。小学校16校、中学校11校をそれぞれ9校に統廃合し、地域の公共施設と複合化させていくものです。

どの学校を対象にするかは不明で、29年度から開始、10年間の計画です。人口減少を理由にしているが、人口減少をくい止める観点は全くありません。財政削減ありきで進める学校統廃合は、子ども達に大きな負担を課し、地域を衰退させます。

## 共産党議員の一般質問

- 石田よしお議員  
不安負担増大のマイナンバー制度
- 吉沢かつら議員  
子どもの権利を守る施策の充実を
- 小出わたる議員  
学童保育室の改善・西武地域歩道
- 安道よし子議員  
入間基地へのC2配備で基地強化

## 日本共産党市議会報告

2016年1月	発行/日本共産党入間市議団 連絡先/電話・Fax2932-2840	
石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883